



2019年度 映像情報を活用した情報提供環境の整備

- ・IPカメラ多点モニターシステム構想

2018年西日本豪雨を受けての課題

(1) 想定していなかった場所で災害が起きた。

(2) 想定していなかった時間で災害が起きた。

(1) 想定していなかった場所で災害が起きた。

- 発生した事案は主に【河川】
- ・河川の氾濫による道路の寸断。
 - ・河川の氾濫による電柱の倒壊。
 - ・土砂崩れによる道路の寸断。

(2) 想定していなかった時間で災害が起きた。

- 台風/地震と違い、状態の累積による事案
- ・雨が降り続き、その累積によって発生した、「河川の氾濫」と「土砂崩れ」

この2案件に対応するために必要なこと。

- ①時間の経過に沿った状態把握
- ②映像による見える化
- ③道路交通の情報
- ④河川の情報

- ①時間の経過に沿った状態把握
- ②映像による見える化



多数の地点を同時に見ることができ、
かつ録画できるシステム



マルチライブカメラ送出システム

③道路交通の情報

④河川の情報



各監督行政との情報連結できる仕組み



定期的な情報交換ができる協定？会議？

①時間の経過に沿った状態把握

②映像による見える化

③道路交通の情報

④河川の情報

①②は自社で取り組めるので
まずはこの点を検討しました。

2019年度に導入予定の マルチライブカメラ送出システムの【条件】

- ・多数のカメラが運用できること
- ・録画ができること
- ・情報を素早く出せること
- ・拡張性と汎用性があること
- ・コストパフォーマンスが良いこと



2019年度導入予定のシステムの画面

設定

ONAIR

建物被害1000棟超＝危険度判定進む一國もブロック塀調査・大阪北部地震 11:29
 最大震度6弱を観測した大阪府北部を中心とする地震では、21日までに計約1100棟の建物被害が確認された。

【国道342号】真湯 【国道107号】大石
 【栗駒平泉線】餅転 【国道4号】徳沢

PREVIEW



テロップ

メール状態

優先	日時	時間	タイトル	本文
5	06/27 11:28:59	60	建物被害1000棟超＝危険度判定進...	最大震... 削除

メール受信間隔

タイトル 建物被害1000棟超＝危険度判定進む一國もブロック塀調査・大阪北 優先順位 5 時間 60 秒 表示

本文 最大震度6弱を観測した大阪府北部を中心とする地震では、21日までに計約1100棟の建物被害が確認された。震源に近く被害の大きかった高槻、茨木両市などは集計が遅れており、数は今後増える見通し。府内の自治体は、損壊した建物などの応急危険度判定を急ピッチで進めている。府によると、21日午前7時半現在、府内の住宅被害は大阪市85棟、枚方市162棟など全部で半壊10棟、一部損壊が781棟。この他、倉庫や店舗など住居以外の建物計214棟の被害が報告された。20日夜時点の集計では約580棟だった。被災した各自治体で応急危険度判定が本格化したことに加え、避難先から自宅に戻ったり、片付けのめどが立ったりした住民が申告したことで、急増したとみられる。一方、登校中の女兒が死亡する事故があった通学路の安全確認も進んだ。プールのブロック塀が倒壊した小学校がある高槻市で

シーケンス一覧(ONAIR) シーケンス送出を使用する

- テロップ
- 国道10号 道路情報
- ラウンドアバウト2画面
- 動物園2画面

1システムで最大64ヶ所の映像を確認できます。

カメラ一覧(PREVIEW)

左上 真湯	右上 大石	左下 餅転	右下 徳沢
洗馬	山吹	上松第3	一二兼登坂
吾妻	東和	サル山	ペンギンの丘
飯田市立病院	国道256号 分岐		

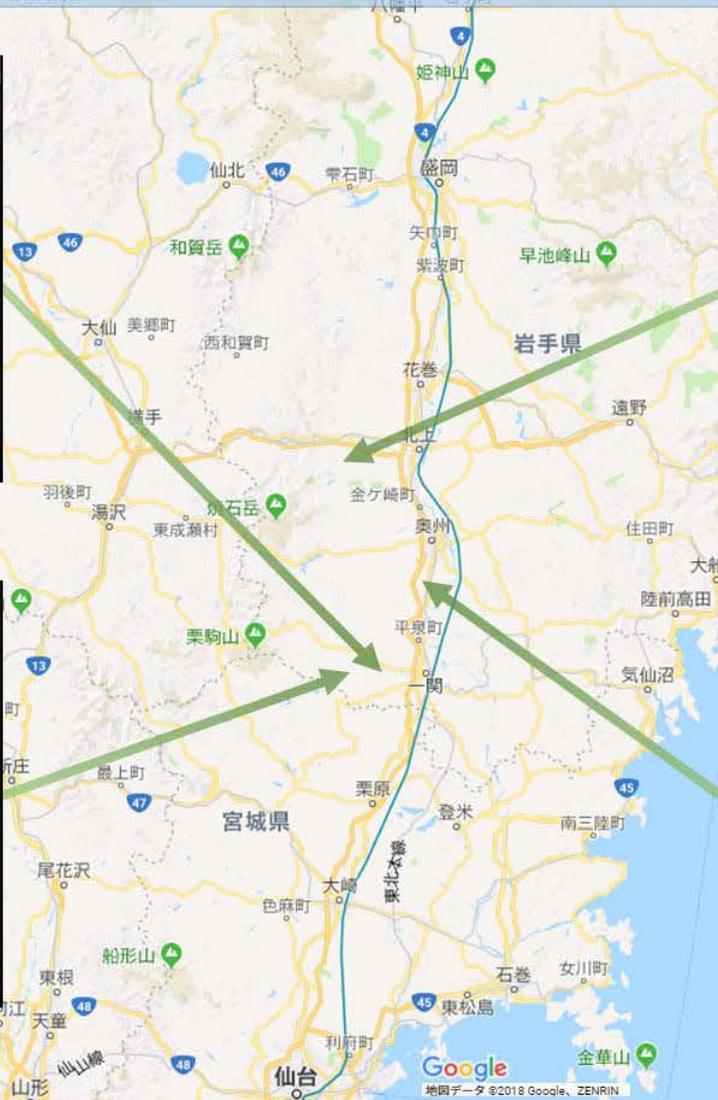
建物被害1000棟超＝危険度判定進む―国もブロック塀調査・大阪北部地震

11:31

最大震度6弱を観測した大阪府北部を中心とする地震では、21日までに計約1100棟の建物被害が確認された。



【国道342号】真湯



【国道107号】大石



【栗駒平泉線】餅転



テレビでの表示



テレビでの表示

このシステムを導入するに当たり必要なこと。

設置場所に関する行政との連携

課 題

【設置用地】

【設置場所選定】

【電 源】

【プライバシー】